

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | | 正 答 (例) | | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | |
|------|---|--|--|---|---------------------------------|----|------------|
| 1 | 1 | a | 生活課題と目標設定 | 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。 | 各 4 × 2 | 35 | |
| | | b | 介護計画の実施と評価 | | | | |
| | 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・本人と面接する。 ・本人を観察する。 ・本人を計測する。 ・資料を読む。 ・本人以外の人から本人のことを聞く。 | | 3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。 | 各 5 × 3 | | |
| | 3 | (ア) | J | | 各 4 × 3 | | |
| | | (イ) | 準寝たぎり | | | | |
| | | (ウ) | 座 | | | | |
| 2 | 1 | (ア) | 児童福祉 | | 各 5 × 3 | 21 | |
| | | (イ) | 基本的人権 | | | | |
| | | (ウ) | 人格 | | | | |
| | 2 | ADLの自立からQOLの充実への価値転換が図ら れ、障害者の自己決定が尊重されるようになった。 | | 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。 | 6 | | |
| 3 | 1 | (ア) | 脳下垂体 | 下垂体、脳下垂体前葉、下垂体前葉、性腺 下垂体 もよい。 | 各 5 × 3 | 37 | |
| | | (イ) | 免疫力 | | | | |
| | | (ウ) | サーカディアンリズム | | | | 概日リズム もよい。 |
| | 2 | 記号 | (B) | | 4 | | |
| | | 理由 | 高齢者の睡眠の経過は、睡眠のリズムが成 人に比べると小刻みに変わり、眠りが浅くな る。また、高齢者の総睡眠時間は、成人に比 べると少なくなり、レム睡眠の割合も少なく なる。その特徴を表しているのは、(B)で あるから。 | | 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。 | | 8 |
| | | 3 | 光の刺激が、睡眠を促すホルモンであるメラトニン を分解し、体内のメラトニンの量を減少させることと 分泌を抑制することにより、覚醒レベルを上げること になるから。 | | 内容を正しくとらえていれば、表現は異な っていてもよい。 | | 10 |

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | | 正 答 [例] | | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | |
|------|-----|--|--|--|------------------|-----|
| 4 | 1 | (ア) | 老いる | | 各 4 × 2 | |
| | | (イ) | 自覚 | | | |
| | (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者本位, 自立支援 ・専門的サービスの提供 ・プライバシーの保護 ・総合的サービスの提供と積極的な連携, 協力 ・利用者ニーズの代弁 ・地域福祉の推進 ・後継者の育成 | | 3つ書かれていればよい。 内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。 | 各 4 × 3 | 3.0 |
| 4 | 2 | 対応 | 特定の個人を識別できないようにし, 遺族に同意を得る。 | 内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。 | 各 5 × 2 | |
| | | 理由 | Cさんの個人情報は, Cさんが亡くなっても, Cさんの遺族である妻や娘の個人情報として受け継がれていくため。 | | | |
| 5 | 1 | (ア) | B | | 各 4 × 4 | |
| | | (イ) | A | | | |
| | | (ウ) | C | | | |
| | | (エ) | D | | | |
| 5 | 2 | (1) | 高齢者差別や偏見のこと。 | 内容を正しくとらえていれば, 表現は異なってもよい。 | 各 4 × 2 | 2.4 |
| | | (2) | 老いを, 喪失と社会からの疎外の過程としてとらえるのではなく, 老年期を迎えても自分を失わず, 自分が望む形で生活を送るという考え方のこと。 | | | |
| 6 | | ① | H | | 各 2 × 4 | 8 |
| | | ② | G | | | |
| | | ③ | E | | | |
| | | ④ | A | | | |

高等学校福祉科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

| 問題番号 | 正 答 〔例〕 | 採 点 上 の 注 意 | 配 点 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----------------------------------|----------|--------------|---|-----------------------|--|-----------------|--|------------------|---|---|--|---------------|--|----------------------------------|----|
| 7 | <p>主体的に実習に臨む態度を身に付けさせ、自己の課題を明確化するとともに、介護従事者としての意識付けを図るなど効果的な指導を行うこと。</p> | <p>内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。</p> | 15 | | | | | | | | | | | | | | |
| 8 | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="284 510 497 542">学習活動</th> <th data-bbox="497 510 981 542">指導上の留意事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="284 542 497 698">1 学習目標を確認する。</td> <td data-bbox="497 542 981 698"> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験を想起させながら、サービス利用者に安心感のある移動の介護の方法について、グループ協議を通してまとめることを伝える。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 698 497 922">2 個人で体験をもとに振り返り、分析する。</td> <td data-bbox="497 698 981 922"> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で、体験をもとに感じたことを「怖かったこと」と「安心できたこと」に分類させる。 ・分類したものについて、教科書やワークシートをもとに、安心感のある介護の方法について分析させる。 ・机間巡視し、分類・分析方法が分からない生徒に助言する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 922 497 1070">3 グループで意見交換をする。</td> <td data-bbox="497 922 981 1070"> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が発表しやすいようにルールづくりを示す。 ・自己の考えや意見を理由とともに発表させる。 ・自分の考えを深めさせるために、他の人の発表の内容についてメモをとらせる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1070 497 1541">4 クラス全体で意見交換をする。</td> <td data-bbox="497 1070 981 1541"> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を尊重し合えるように聴く時の態度に注意させる。 ・クラス全体でいくつかのグループに発表させる。その際、なぜ安心感のある介護方法であると考えたか、その理由とともに実演しながら分かりやすく発表させる。 ・各グループの発表内容を板書する。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1541 497 1662">5 グループや全体での発表をもとに、個人で、安心感のある移動の介護方法を具体的にまとめる。</td> <td data-bbox="497 1541 981 1662"> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を聞き、共通した意見と自分の考えと異なる意見とに下線を引かせながら分けて整理させる。 ・個人で考えた意見と他の人の意見を聴いて整理したことを統合させて、安心感のある介護方法について具体例を示しながらまとめさせる。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1662 497 1662">6 今後の学習活動を知る。</td> <td data-bbox="497 1662 981 1662"> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、今後、介護実習等で実際の場面に生かすために、移動の介護方法の自己チェックリストを作成することを伝える。 </td> </tr> </tbody> </table> | 学習活動 | 指導上の留意事項 | 1 学習目標を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験を想起させながら、サービス利用者に安心感のある移動の介護の方法について、グループ協議を通してまとめることを伝える。 | 2 個人で体験をもとに振り返り、分析する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人で、体験をもとに感じたことを「怖かったこと」と「安心できたこと」に分類させる。 ・分類したものについて、教科書やワークシートをもとに、安心感のある介護の方法について分析させる。 ・机間巡視し、分類・分析方法が分からない生徒に助言する。 | 3 グループで意見交換をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員が発表しやすいようにルールづくりを示す。 ・自己の考えや意見を理由とともに発表させる。 ・自分の考えを深めさせるために、他の人の発表の内容についてメモをとらせる。 | 4 クラス全体で意見交換をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を尊重し合えるように聴く時の態度に注意させる。 ・クラス全体でいくつかのグループに発表させる。その際、なぜ安心感のある介護方法であると考えたか、その理由とともに実演しながら分かりやすく発表させる。 ・各グループの発表内容を板書する。 | 5 グループや全体での発表をもとに、個人で、安心感のある移動の介護方法を具体的にまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を聞き、共通した意見と自分の考えと異なる意見とに下線を引かせながら分けて整理させる。 ・個人で考えた意見と他の人の意見を聴いて整理したことを統合させて、安心感のある介護方法について具体例を示しながらまとめさせる。 | 6 今後の学習活動を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、今後、介護実習等で実際の場面に生かすために、移動の介護方法の自己チェックリストを作成することを伝える。 | <p>問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。</p> | 30 |
| 学習活動 | 指導上の留意事項 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 学習目標を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験を想起させながら、サービス利用者に安心感のある移動の介護の方法について、グループ協議を通してまとめることを伝える。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 個人で体験をもとに振り返り、分析する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人で、体験をもとに感じたことを「怖かったこと」と「安心できたこと」に分類させる。 ・分類したものについて、教科書やワークシートをもとに、安心感のある介護の方法について分析させる。 ・机間巡視し、分類・分析方法が分からない生徒に助言する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 グループで意見交換をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・全員が発表しやすいようにルールづくりを示す。 ・自己の考えや意見を理由とともに発表させる。 ・自分の考えを深めさせるために、他の人の発表の内容についてメモをとらせる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 クラス全体で意見交換をする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を尊重し合えるように聴く時の態度に注意させる。 ・クラス全体でいくつかのグループに発表させる。その際、なぜ安心感のある介護方法であると考えたか、その理由とともに実演しながら分かりやすく発表させる。 ・各グループの発表内容を板書する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 グループや全体での発表をもとに、個人で、安心感のある移動の介護方法を具体的にまとめる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を聞き、共通した意見と自分の考えと異なる意見とに下線を引かせながら分けて整理させる。 ・個人で考えた意見と他の人の意見を聴いて整理したことを統合させて、安心感のある介護方法について具体例を示しながらまとめさせる。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 今後の学習活動を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、今後、介護実習等で実際の場面に生かすために、移動の介護方法の自己チェックリストを作成することを伝える。 | | | | | | | | | | | | | | | | |